

令和6年12月10日

各位

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
代表取締役社長 平松 均

拝啓

霜寒の候、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、弊社は、平成22年12月10日にNACCSのシステム全てが停止するという極めて大きなシステム障害を発生させたことにより、お客様をはじめ関係の皆様にご多大なご迷惑とご不便をお掛けしたことから、毎年12月10日を「安定運用の日」と定め、システム障害訓練を実施しているところです。

本年の訓練においては、本日（12月10日）13時30分頃、お客様システムとNACCSとの接続で多くご利用いただいている、特定の処理方式が利用不可となる大規模システム障害が発生したとの想定で障害対策本部を設け、弊社と契約ベンダー様とをWeb会議システムにより接続し、対処の検討、関係各所の連絡体制及び復旧までの対応手順確認に重点をおいた訓練を実施しました。なお、前年同様に、どのような障害が発生するかを事前に関係者に共有しないこととし、実際に障害が発生した場合に近い形として実施しました。

弊社は、「24時間・365日のシステムの安定稼働とお客様へのサービス向上」を最優先として業務に取り組んでおり、適切な業務を遂行するための運用体制を構築しています。システムの安定稼働のため日々の点検や基本動作の確認は勿論のこと、定期的にシステムの総合点検を実施することで、システム障害の発生を未然に防ぐ努力を重ねておりますが、万一システム障害が発生した場合に備えて、多くの社員が参加し、このような訓練を実施しているところです。

国際貿易と国際物流に不可欠なシステムを維持・運用しているという自覚と責任感を強く持ち、「24時間・365日」システム障害を絶対に発生させない、お客様にご迷惑やご不便をお掛けしない、ということを常に念頭に置いて業務に精励してまいりますので、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

【連絡・問合せ先】

輸出入・港湾関連情報処理センター（株）
総務部総務課 井上
（電話）03 - 6732 - 6119



訓練の様様